

SDA 宅配二輪実技講習

京都で開催 府警の安全講話も

全日本デリバリー業安全運転協議会(SDA)／浅野秀則理事長)は10月16日、同協議会が主事業とする宅配バイクの安全運転実技講習会を例年に続き京都で開催。二輪車専門教習所を会場に、教習所所属のインストラクターから日々の宅配業務に役立つ安全運転技術指導や座学による事故防止啓発、運転前の点検整備などを参加者が学び、スキルアップにつなげた。講習は京都市伏見区の



実技講習の様子

伏見デルタで行われ、地域のSDA加盟会員店舗から宅配スタッフら7人が参加。講習前には交通安全講話も行われ、京都府警察本部交通企画課交通戦略係長の溝口七重警部補が、地域の交通情勢や二輪車事故事例などを説明。その上で▽二輪車事故の特徴を忘れない▽速度を控え視野を広く▽乗車時の服装(安全装具装着)に気を配る—など交通事故防止のためのポイントを挙げ、自身と



重要な車両点検も受講

周囲を守る日頃の安全運転を喚起した。続いて20分間の運転適性検査(IDP方式)が実施され座学へ。座学では「危険予知」をテーマに、ドライブレコーダー動画による様々なシチュエーションやアクシデントでの危険予測など、危



京都府警の交通安全講話

険要因のとらえ方を確認し学んだ。

この後、実技講習のため走行コースに移動。約50分の講習カリキュラムとなったが、より実践的な実技走行と運転指導のもと、参加者はしっかりと自身の安全運転技術を磨いた。

講習では、コース走行に先駆けて重要な車両点検を実施。点検の重要性とともに、定期点検整備の怠りで発生する故障例などを挙げて、実車による運行前点検方法が分かりやすく説明された。

実車走行では、まずプロテクターなど防具類の



座学風景

装着確認を行い、慣熟走行後、二輪車の特性と操作について、スラロームや平均台などのセクショで講習。二輪車の傾きによる曲がり方やアクセルワークによる車体の挙動などをつかむ練習を重ね、コース上でスムーズなバイクコントロールを身に付けられるよう参加者は上達を目指した。ブレーキングでは目標位置からの制動、合図による制動(赤旗確認制動)が繰り返行われた。